

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 5年 3月 20日

事業所名 ヒカリノアトリエ開成

保護者等数（児童数） 22 回収数 13 割合 59 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	4			3月より巨勢に主に集団活動をする教室をオープンして対応いたします。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	10	2			研修を積み、職員の専門性を高めていきます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	5	4		賃貸物件のためバリアフリー化は制限されますが、できる限りの対応を考えていきます。
適切 な 支 援 の 提 供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	12				
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	11	1			現在曜日で活動が固定されておりますが、様々な活動の企画を検討してまいります。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	5	3		地域の小中学校に向けてバザー等の開催を呼びかけ交流できるよう検討してまいります。
保 護 者 へ の 説 明	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10	2			今後支援内容の説明の際に、給付費一覧を保護者の皆様に提示してまいります。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	8	4			保護者様と連絡を密にし、子どもさんの状況を共有していきます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5	7			今後は面談の回数を増やし、保護者様の悩みに応じていきます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	4		事業所から保護者への説明のみ。一方通行なことが多い。	変更点など事前の説明が1方ではなく、ご心配をおかけしてしまい、誠に申し訳ありませんでした。今後は、保護者様にわかりやすく、丁寧に説明を行ってまいります。また、活動内容の変更などに関しましては、事業所だけで決めず保護者さまのご意見を頂く場を設け、保護者様の意見を言いやすい体制を整えます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	4		相談したいと申し出ても、相談にのってもらえない。話し合う時間を作ってもらえず、残念。	貴重なご意見ありがとうございました。相談システムが整備されておらず、不快な思いをされたことに対して、お詫び申し上げます。今後は、相談受付マニュアルを作成すると共に、保護者の皆様がそうだしやすい環境づくりを整備してまいります。

等	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8	4		今後もLINEを活用して、意思疎通や情報伝達に努めてまいります。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10	2		今後もSNSでの情報発信に努めてまいります。
	14	個人情報に十分注意しているか	9	2	1	今後とも、個人情報の取扱いに十分配慮してまいります。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	6	5	1	防犯及び感染症対応マニュアルについては、早急に策定し、職員研修と訓練の実施、保護者への重要事項説明書による周知を行います。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	3		年間行事予定に組み込み、訓練を実施します。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	12			
	18	事業所の支援に満足しているか	9	3		利用者及び保護者の方に満足して頂ける支援ができるよう全職員スキルアップを図ります。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。